

指定管理業務実績 (上半期)・下半期) 報告書

平成29年10月25日

神奈川県横須賀土木事務所長 殿

葉山港指定管理者
株式会社リビエラリゾート
代表取締役 渡邊 昇



葉山港の管理に関する基本協定書第42条第2項の規定に基づき、次のとおり指定管理業務実績報告書を提出します。

記

- 1 葉山港事業実施報告書
 - (1) 業務の運営に係る総括
(組織体制、内部管理体制、受付の無休化、スタッフ研修、業務合理化等)
 - (2) 港湾管理業務に係る総括
(利用承認業務、利用者指導・調整等、安全管理指導)
 - (3) 維持管理業務に係る総括
(施設維持管理業務、災害時対応業務等、駐車場管理業務)
 - (4) 開かれた港湾に向けた取組に係る総括
(開かれた港湾に向けたイベント等実施結果、利用促進・付帯事業・広報等)
- 2 上半期収入状況
- 3 上半期指定管理料執行状況報告書
- 4 上半期証紙購入及び収入

指定管理業務実績（上期）報告書

平成 29 年 10 月 25 日

神奈川県横須賀土木事務所長 殿

指定管理者

株式会社リビエラリゾート

代表取締役 渡邊 昇

1、葉山港事業実績報告書（平成 29 年度上期）

（1）業務の運営に係ることについて

ア、組織体制

- ・平成 29 年度葉山港人員配置書に基づき、正社員 5 名、非常勤社員 4 名、アルバイト作業員 5 名の業務実施対応をとった。

ハーバー課員について人員の入れ替えがあり、1 名が抜けた分 1 名を補充した。

イ、内部管理体制

- ・必要に応じて分担外の事務を相互に援助し処理する為に、事務所に携わる全スタッフが窓口事務、利用承認事務や駐車場料金回収業務等対応できる状態にし、青海苔除去作業、港内の巡視業務に関しては、荒天時以外は全スタッフで対応できる状態にした。平成 24 年度から実施している「施設の磨き上げ」をテーマに全従業員が交代で作業にあたり、利用者目線で施設を見直し、必要に応じて塗装や磨き作業を実施した。

ウ、受付の無休化

- ・26 年度から 31 年度までの年中無休で受け付けを継続する事を 25 年度中に申請した。

エ、スタッフ研修

- ・毎日朝礼を実施し、挨拶練習と接遇練習を実施。
- ・地震による津波警報が発令された想定でスタッフ間の避難訓練を実施。合わせて外部委託の夜間警備員についても、避難行動マニュアルの内容に沿った避難誘導訓練を実施した。

オ、業務合理化等

- ・業務内容をスタッフ間で週に一度ミーティングを開催し、港内全般の経費の節減や小規模の修繕について話し合い、都度改善に取り組んだ。

（2）港湾管理業務

ア、利用承認業務

- ・利用承認手続き事務については、「葉山港の施設の利用承認等に関する事務処理要綱」に基づき実施しており、順調に推移している。
- ・その他、条例、規則、利用上の取扱い等を遵守し、中立公平を旨として実施している。利用承認申請手続きにおいて、個人情報漏洩に注意し、申請内容、添付書類等の確認を図りながら収入証紙の消印時の確認等に誤りがないよう事務の執行に際し徹底指導を行っている。
- ・ヨット競技が同日に複数開催されるときには、施設が効率的に利用できるよう調整し、有効活用を図った。その他、大会ヤードやビジター棧橋について一般の臨時利用もヨットレースと同時にご利用をいただく工夫を実施。クレームや大きな事故などなく安全に大会ヤードを提供した。

イ、安全管理等サービス業務

- ・艇の出艇時に気象等安全に関することを窓口で必ず伝え、注意報等が発令された時は、ヨット施設利用者等の安全管理等業務に基づき出艇禁止等の措置を行い、また、天候が急変した時は、救助艇で海上での帰港指導を行うとともに帰着の確認をし、安全な対応を図っている。
- ・窓口での対応をはじめ船舶係留施設の安全点検を実施している。
- ・葉山町や県主催の行事に積極的に協力し人員の補助や、レスキュー艇で体験乗船を行った。

(3) 維持管理業務に関することについて

ア、施設維持管理業務

- ・定められた施設の維持管理に伴う定期清掃については、利用者が安全かつ快適に利用できるよう努めている。港内船揚場斜路の青海苔除去作業については、特に注意深く行い、利用者の安全に努めた。その他、港内巡視業務を実施し、各施設の安全確認を行った。また、通常の巡視業務とは別に A 防波堤を 1 日 2 回巡視し、立入禁止区域への立入者への口頭注意と港内放送での注意を実施した。夜間についても警備員が施設全体を定期的に巡回し、施設内の安全管理に努めた。

イ、保守点検・修繕等業務

- ・施設を安全に利用できるよう事務所自動ドア、自家用電気工作物保安管理業務等の全 6 項目において保守点検を専門業者へ委託した。自社のレスキューボート 2 艇に関しては、自社の整備担当スタッフによる点検・修理を実施した。

ウ、災害時対応業務

- ・葉山港は葉山町地域防災計画に位置づけられており、町に災害対策本部が設置され、葉山港においては緊急物資の受け入れや避難場所の開設等、県の災害対策本部との連携にあたって、事務所スタッフが迅速な対応を図るよう努めている。

- ・既設の「葉山港津波発生時行動マニュアル」にもとづき、避難誘導訓練を5月に実施をした。来期からは、利用者も参加する避難訓練を企画した。
- ・解放しているA防波堤の利用について越波等の状況を確認後利用者の安全を考え、荒天時には臨時に閉鎖等の対応を図り、また、台風等の接近が予想される場合は、事前に係留艇、陸置艇のロープ等の状況を確認し、迅速な対応を図るよう努めている。利用者からの問い合わせに対し、艇の確認で来港される方が多い際は台風時の来港者リスト作成を実施した。

エ、駐車場管理業務

- ・快適に駐車場を利用できるよう適切な管理を行い、自動料金徴収機等の故障時等は迅速に対応した。また、定期的に点検を行い、駐車券の補充、釣銭の補充等を行いトラブル等防止に細心の注意を払い業務を実施した。
- ・専門業者に駐車場システムの保守点検を委託し実施した。

オ、会議室及びシャワー室利用承認業務

- ・利用者間の平等利用に留意しながら公平かつ適切に行うよう努めた。

(4) 開かれた港湾としての取り組みに係ることについて

ア、開かれた港湾としてのイベント

- ・神奈川県と日本マリーナビーチ協会が主催しているかながわシープロジェクト「Feel SHONAN」の活動に参加。クルーザーヨットの体験乗船を7月に2度実施した。
- ・どなたでもご利用いただけるアフタヌーンクルーズを毎日受け付けており、4月3組、5月4組、6月2組、7月3組、8月5組、9月2組、計19組のお客様にご利用頂いた。
- ・8月には東日本OP選手権大会を葉山港にて開催。

正式名称

R I V I E R A C U P 第35回東日本オブティミスト級セーリング選手権大会
エントリー数

Aクラス106艇 Bクラス25艇 合計131艇

海外チーム（香港）も参加をしており、オリンピック開催に向け増える海外選手の参加も増える見込みである。大会協力として、本部船、フィニッシュボート、マークボートの3艇と、船体に貼るステッカー、トロフィー、レースマーク貸出、宿泊施設、懇親会会場などの協力を行った。

イ、利用促進、広報

- ・新港大会ヤードで行われるレース開催及び臨時艇を受け入れ、外来艇の利用促進に努めた。
- ・利用案内を窓口に備え付け、必要に応じて利用者に配布した。
- ・葉山港の公式ホームページを利用し、レース予定・施設のご案内・ライブカメラ・申

請書のダウンロードなどを継続して利用可能にした。

- ・1階の管理事務所前に休憩スペースや、カップ麺や、ビールなど利用者から要望をいただいた物販を継続して実施した。今年度より船具の販売を始め、突発時に発生する要望に対して受け入れが可能となった。

他、管理時事務所棟内に関して無線 LAN 回線を継続して使用できる様にした。

- ・以前設置した事務所前スペースの意見箱と掲示板について、定期的に情報更新を実施した。利用者からの意見については、対応結果を記載した物を掲示板に掲示した。
- ・通年艇利用者に対しては、レースやイベント時で混雑が予想される際は事前に通知を送り、施設提供の協力と大会開催の理解を得ていただく要望を郵送にて対応した。

ウ、付帯事業等に係ることについて

- ・平成 29 年度の事業計画をもとに自主事業を行った。

① レンタルボート事業

ヤマハシースタイルレンタルボートの継続。通年艇利用者は、特別会員制度があり、ヨットレースの運営艇や救助艇としての利用も増加傾向にある。

一般の会員の方も利用できるシステムではあるが、安全講習を行った上での利用の為、トラブルや事故は現在まで無い状態である。

② 海の駅としての取り組み

海の駅としてビジターバースの利用促進を実施した。大会等で使用できない場合以外は積極的にビジターバースの誘致を実施。イベントについては 10 月に葉山町が実施をするヨット体験イベントの体験乗船の委託を受けている。

③ 物品販売

ディングーヨットのパーツを可能な限り安価で販売をし、利用者のニーズに応えた。今後も利用者からの意見を取り入れた販売を継続していく。

以上

平成29年度 上期収入計

29年度上半期

単位:円(税込)

	証紙販売	証紙店頭販売	駐車場	船具庫	ウインチ	会議室	会議室付帯 設備	シャワー	緑化	収入計 (証紙販売・緑 化除く)
4月	29,126,070	37,100	1,785,840	398,620	2,480	159,010	1,440	38,000	600	2,385,390
5月	12,318,400	22,400	2,855,420	121,440	3,720	200,370	0	81,900	800	3,262,850
6月	8,225,080	9,300	1,855,890	78,860	1,240	132,400	5,760	47,400	600	2,121,550
7月	7,835,610	39,100	2,790,330	58,820	4,960	262,730	8,640	102,900	700	3,228,380
8月	7,226,330	23,500	2,631,120	34,540	6,200	171,520	2,880	135,800	620	2,982,060
9月	3,479,840	43,900	2,187,950	118,670	3,720	243,740	2,880	74,300	640	2,631,260
半期計	68,211,330	175,300	14,106,550	810,950	22,320	1,169,770	21,600	480,300	3,960	16,611,490

平成29年度上期指定管理料執行状況報告書

区 分		金 額 (単位:円)			備 考
		指定管理業務	指定管理 附帯事業	その他 提案事業	
収 入	指定管理料	23,138,886			
	県収入証紙販売手数料		2,461,919		
	その他(事業収入)	15,295,070		19,476,925	
	その他(事業外収入)				
	消費税及び地方消費税	3,074,718		1,558,154	
	収入合計(A)	41,508,674	2,461,919	21,035,079	
支 出	人 件 費	常勤給与・賞与	7,200,682		
		非常勤給与・賞与	5,160,000		
		各種手当	1,219,544		
		法定福利費	1,967,766		
		アルバイト賃金	4,423,528		4,423,700
		小 計	19,971,520	0	4,423,700
	事 務 費	一般管理費	2,261,724		6,777,095
		光熱水費	3,273,502		
		保険料	763,608		0
		ヨット等安全管理業務費	193,374		0
		駐車場管理費	432,500		
		施設維持管理費	6,708,799		
		租税公課	223,300		1,927,300
		減価償却	15,000		1,851,000
		その他			325,733
		小計	13,871,807	0	10,881,128
		合計	33,843,327	0	15,304,828
		消費税及び地方消費税	2,328,888		650,803
		支出合計(B)	36,172,215	0	15,955,631
		差し引き(A)-(B)	5,336,459	2,461,919	5,079,448
	差し引税別	4,590,629	2,461,919	4,172,097	

29年度上半期 葉山港証紙購入・販売状況

	購入	販売	残
			5,589,360
4月	43,475,000	29,163,180	19,901,180
5月	0	12,340,800	7,560,380
6月	11,172,500	8,234,370	10,498,510
7月	0	7,874,710	2,623,800
8月	16,365,000	7,249,830	11,738,970
9月	11,555,000	3,523,740	19,770,230

計 82,567,500 68,386,630

(単位:円)

購入合計額 82,567,500

販売合計額 68,386,630

残 19,770,230